

一般社団法人 電気自動車普及協会主催(APEV)

第5回

国際学生“社会的EV”デザインコンテスト2022

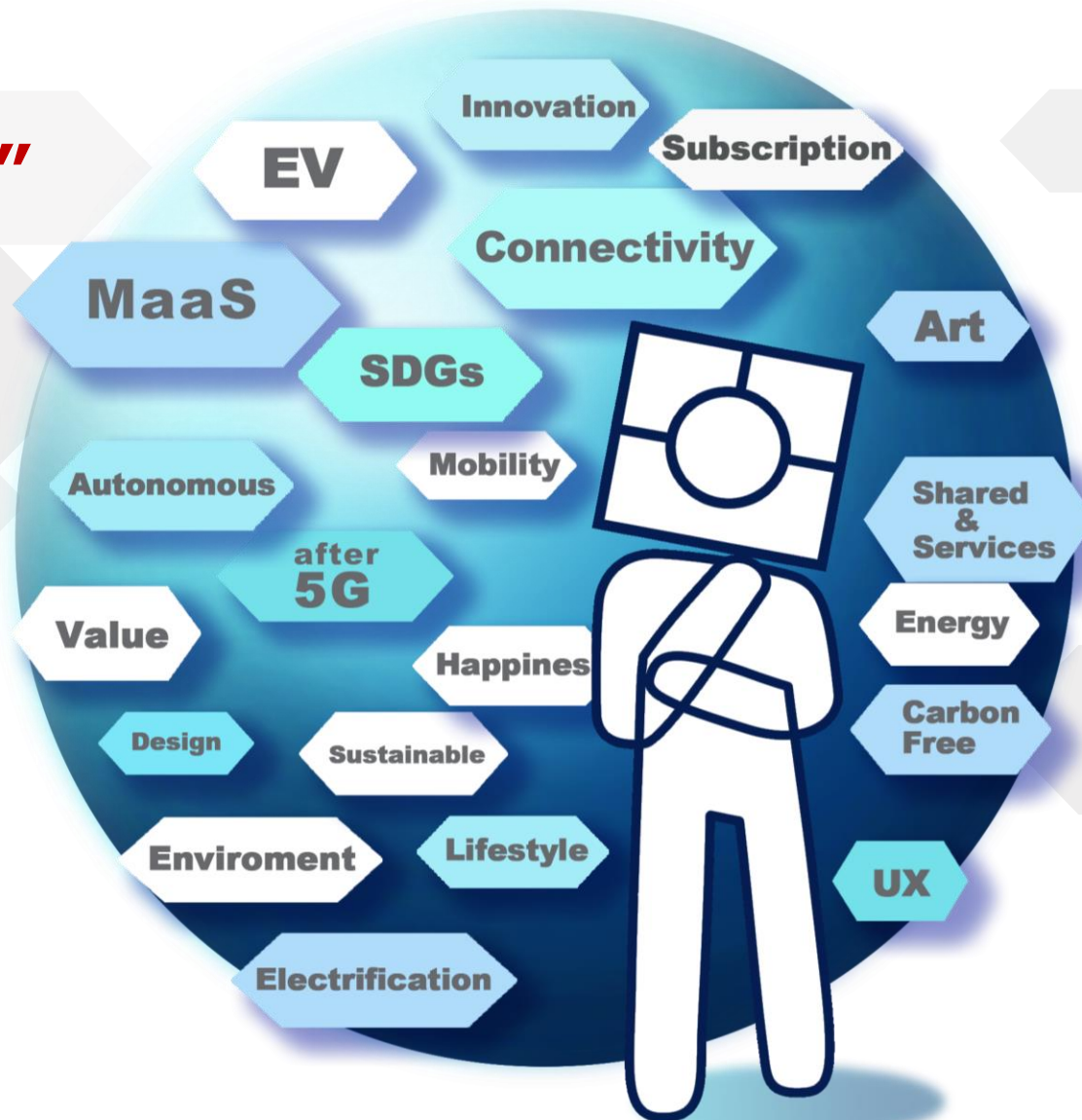
コンテスト概要

実行委員長：山下敏男

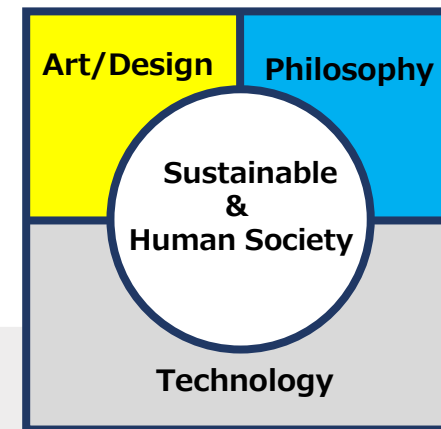
2022年3月27日

■ テーマ

“社会デザインとEV” 2040の提案



■ 融合型人材の必要性 “Mobility Architect”



■ 期間

2022年2月初旬 : エントリー開始

2022年10月下旬 : 最終審査&表彰式

コンテストの目的！

- ① テーマ：**“社会デザインとEV”2040年の社会の創造**
- ② 人材発掘：**次世代の星“Mobility Architect”の発掘**
- ③ 学生 ⇄ 企業：**価値ある未来を共に模索**
- ④ 協業：**学校・国を越えるチームづくり** (参加は一人から可)

コンテストの目的！

① テーマ：**“社会デザインとEV”2040年の社会の創造**

② 人材発掘：次世代人材“Mobility Architect”の発掘

③ 学生 ⇄ 企業：価値ある未来を共に模索

④ 国・学校を超えた協業：課題達成に向けた協力関係の構築（参加は一人から可）

① テーマ：“社会デザインとEV” 2040年の社会の創造

少し先の社会の新しい価値観について

文系・理系・情報系・デザイン系等の枠を超え

様々な角度からテーマを解きほぐし

より具体的に、そして分かり易い

提案を期待している

① テーマ：“社会デザインとEV” 2040年の社会の創造

文章だけでなく

技術だけでなく

勿論スケッチだけでなく

考察とコンセプト

with ストーリーの

提案を期待しています

① テーマ：“社会デザインとEV” 2040年の社会の創造

何故ならば

それは皆さんの

リアルな未来の設計図だから

① テーマ：“社会デザインとEV” 2040年の社会の創造

社会デザイン

“MaaS”に代表されるような**サービス**や、**自動運転**が一般的になった少し先の「社会」での新しい価値観を、学生目線で考察して下さい。

協賛企業の方々のノウハウや経験そしてシーズをバネにすることで、これまでに想像し得なかった2040年の社会を「創造」していただきたい。

「社会デザイン」の創造とモビリティの関わり！！

2040年まであと**18年**！
どこまで・何ができるのか？
社会のデザインとは？
EVの未来は？



環境問題：EV中心
サービスの進化：MaaS
リアル世界/デジタル世界
個人所有 vs. 公共・共有
移動の質の変革（移動レス？）

コンテストの目的！

① テーマ：“社会デザインとEV”2040年の社会の創造

② 人材発掘：**次世代人材“Mobility Architect”の発掘**

③ 学生 ⇄ 企業：価値ある未来を共に模索

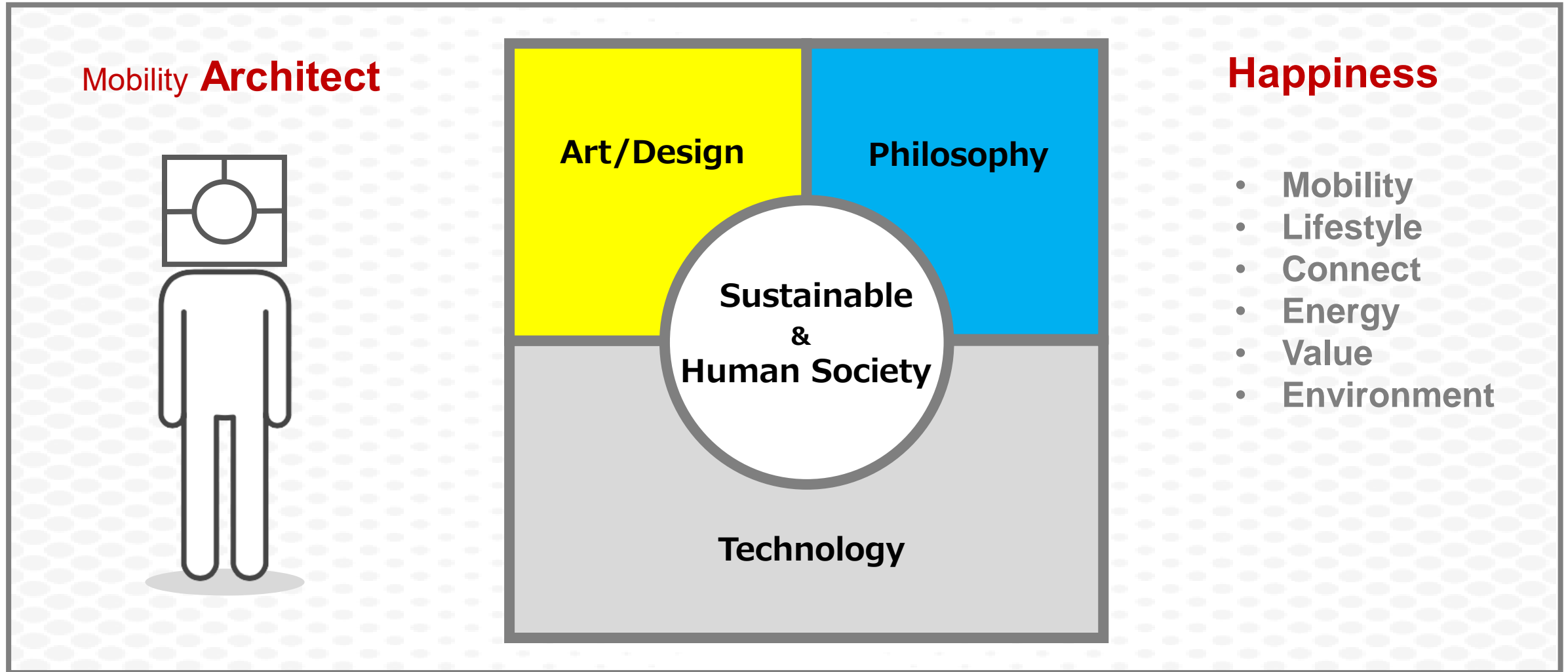
④ 国・学校を超えた協業：課題達成に向けた協力関係の構築（参加は一人から可）

② 融合型人材：次世代人材“Mobility Architect”の発掘

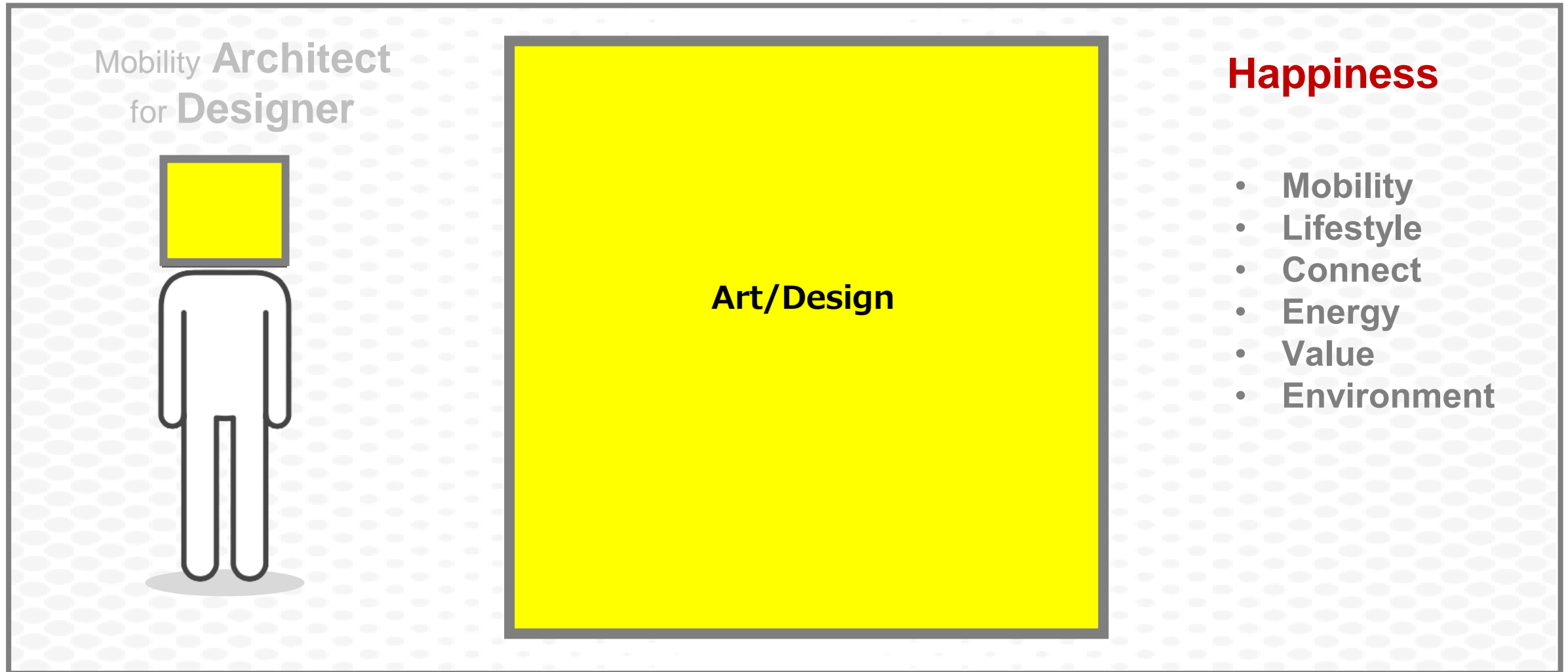
人材育成の考え方を**文理融合の推進が最も重要**であるとの考えから、今回は従来よりのデザイン（美大系の）に特化したコンテストから、文系、理工系、情報系などの学生を対象とすることで、多様な学生が参画するコンテストを実現させるよう企画している。多様な学生が発信し合う場を提供することで、専門性を軸としながらも、広い知識と高いモチベーションを有する人材が発掘されるのではないかと期待している。我々が定義するこの「**融合型人材**」は、次世代に必要不可欠な人材であり育成を急ぎたい。

- 未来が託せる人材の「発掘及び育成」 -

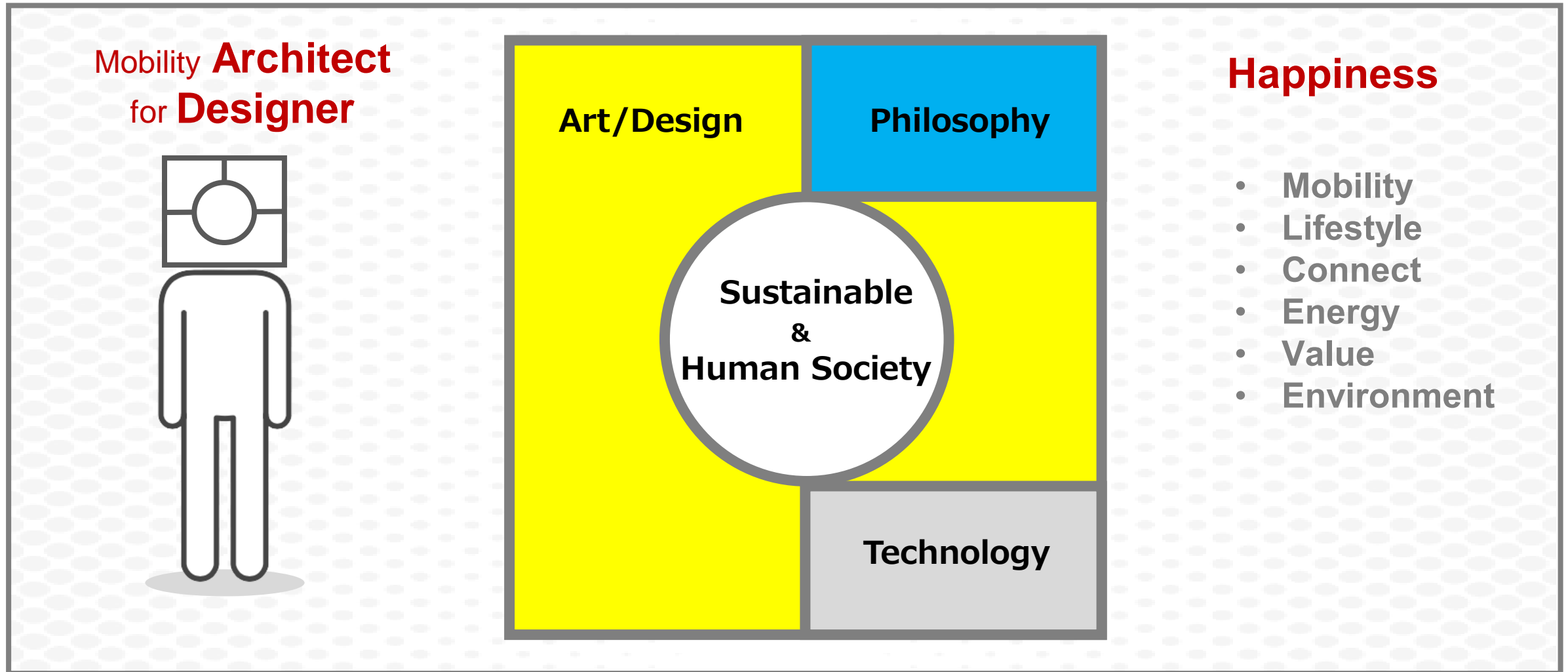
融合型人材“Mobility Architect”の発掘



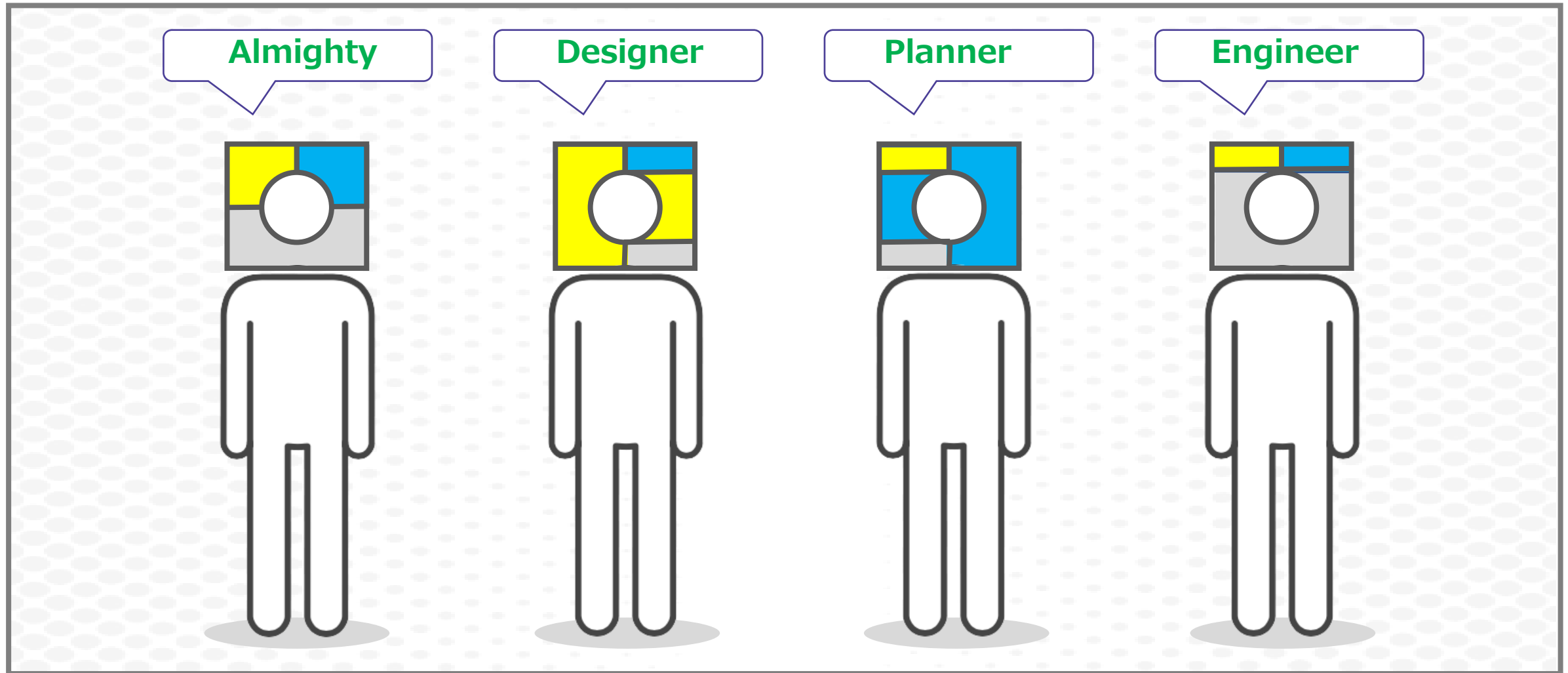
融合型人材“Mobility Architect”の発掘



融合型人材“Mobility Architect”の発掘



融合型人才“Mobility Architect”の発掘



コンテストの目的！

- ① テーマ：“社会デザインとEV”2040年の社会の創造
- ② 人材発掘：次世代人材“Mobility Architect”の発掘
- ③ 学生 ⇄ 企業：**価値ある未来を共に模索**
- ④ 国・学校を超えた協業：課題達成に向けた協力関係の構築（参加は一人から可）

③ 学生 ⇄ 企業：価値ある未来を共に模索

我々は**COVID-19**により、これまでの常識や経験が通用しない世界があることに気付かされ、全く新しい発想/切り口の必要性を痛感している。

- ① **ビジョンの構築**：構造化されていない状況、つまり目標も手段も確実では無い状況下での対応力
- ② **サイエンスオリエンテッド**：目標に対し最適な設計ソリューションを探し要件定義も同時に実行
- ③ **リーダーシップ**：「信念・判断・ユーモア（人間性）」信頼を得てチームを高めへ導く

③ 学生 ⇄ 企業：**価値ある未来を共に模索**

- 若い人と一緒に、解決策を見いだしませんか !!!! -

機会創造

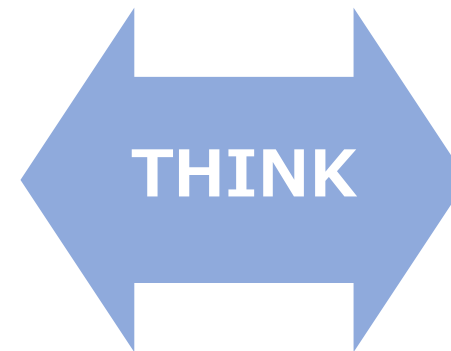
個人所有 vs. 公共・共有

技術革新

カーボンニュートラルの動向

進化するマーケット（Z世代）

etc...



MaaS

CASE

Energy

Infrastructure

Technology

コンテストの目的！

① テーマ：“社会デザインとEV”2040年の社会の創造

② 人材発掘：次世代人材“Mobility Architect”の発掘

③ 学生 ⇄ 企業：価値ある未来を共に模索

④ 国・学校を超えた協業：**課題達成に向けた協力関係の構築**（参加は一人から可）

④ 国・学校を超えた協業：**課題達成に向けた協力関係の構築**

国・学校・専門等の枠を超え

本来やるべきことに注力した

理想的なチームを作り

コンテストに立ち向かって欲しい！

これは、未来のプロジェクトの「雛形」になるはず

(参加は“一人”から可、勿論！)

全体日程 (案)

		2022年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
各種イベント	<p>⊕ 記者発表会</p> <p>⊕ エントリー開始</p> <p>⊕ プレワークショップ</p> <p>⊕ エントリー締切</p> <p>⊕ 一次作品提出締切</p> <p>⊕ 一次作品結果発表</p> <p>⊕ ワークショップ1開催</p> <p>⊕ 二次作品提出締切</p> <p>⊕ 二次作品結果発表</p> <p>⊕ ワークショップ2開催</p> <p>⊕ 最終審査&表彰式</p> <p>及び、APEV シンポジウム開催</p>												
	<p>学生ワーク期間 一次</p> <p>学生ワーク期間 二次</p> <p>学生ワーク期間 最終</p>												
その他	<p>SNSでの交流 (情報交換など)</p> <p>参加学生マッチング期間</p> <p>協賛企業二次募集</p> <p>CEATEC (計画中)</p> <p>一般展示 (計画中)</p>												

コンテストを応援している審査委員！

- 審査委員長：**藤原 洋** (APEV 理事、株式会社ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長CEO、株式会社インターネット総合研究所の代表取締役も兼務)
- 審査委員:(敬称略、50音順)
 - **安藤 忠雄**：建築家、東京大学特別栄誉教授
 - **井原 慶子**：Future(株)CEO、カーレーサー、日産自動車(株)取締役
 - **ジャン ファン**：広州自動車グループ デザイン担当副社長
 - **竹岡 圭**：モータージャーナリスト、日本自動車ジャーナリスト協会 副会長
 - **松本 博子**：女子美術大学 理事 副学長 研究所長 芸術学部 デザイン・工芸学科 教授
 - **パトリック ルケモン**：デザイナー、元ルノー デザイン担当副社長
 - **脇田 玲**：アーティスト、慶應義塾大学 環境情報学部 教授
 - **田嶋 伸博**：APEV代表理事、(株)タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長兼社長/CEO

コンテストを応援している審査委員！



審査委員長
藤原 洋



安藤 忠雄

(撮影：閑野欣次)



井原 慶子



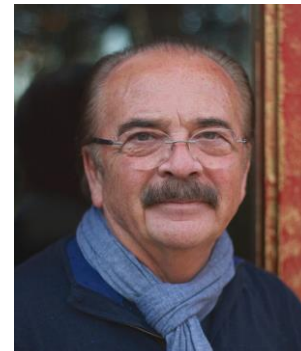
ジャン ファン



竹岡 圭



松本 博子



パトリック
ルケモン











脇田 玲



田嶋 伸博

コンテストを応援している一次協賛企業（2022年3月現在）！

(株) ベネッセホールディングス	
CCCマーケティング (株)	
カーデザインアカデミー (ブランド名)	
デル・テクノロジーズ (株)	
日野自動車 (株)	
日本アイ・ビー・エム (株)	
MONET Technologies (株)	
(株) ワコム	

- ① 社会課題の考察:明確でかつリアリティがある**20点**
- ② 2040年社会ビジョン:魅力的である **20点**
- ③ 解決策のコンセプト:新しい技術やアイデアが明快でストーリー性がある(論理的である) **20点**
- ④ 社会デザイン及びその中でのEVの位置づけとデザイン:時代性・社会性を反映し魅力的である **20点**
- ⑤ オリジナリティ:独自の社会背景の考察が高いレベルであり、かつ提案されるアイデアやストーリーが
独創的で魅力的であること **10点**
- ⑥ 2040年での実現の可能性を秘めていること **10点**
- ⑦ プレゼンテーション力:プレゼンテーションの表現力、説得力が高い **20点**(一次審査は0点)

一般社団法人 電気自動車普及協会主催(APEV)

国際学生“社会的EV”デザインコンテスト2022

EOF